

vol.
219

2025 autumn

赤十字かごしま



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



▶ 令和7年度に鹿児島県内で発生した災害への対応

- (1) トカラ列島近海を震源とする地震
- (2) 8月6日からの大雨及び8月21日からの大雨（台風第12号）

▶ 夏季青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

▶ Topics

- ・レッドライトアッププロジェクト2025
- ・令和7年度鹿児島県総合防災訓練
- ・鹿児島県赤十字有功会総会
- ・ワールド・ファーストエイド・デー2025



ハートちゃん

令和7年度に鹿児島県内で発生した災害への対応

1 トカラ列島近海を震源とする地震

鹿児島県からの要請に基づき、令和7年6月21日から地震が頻発している悪石島に鹿児島赤十字病院の看護師1名を派遣しました。7月4日深夜に鹿児島市を出発し、7月5日から8日までの4日間、診療所での健康観察や、体調不良者への対応、避難時の安否確認など地元看護師の支援活動を行いました。



関係者間の打合せ



健康観察

2 8月6日からの大雨及び8月21日からの大雨(台風第12号)

令和7年8月6日からの大雨及び令和7年8月21日からの大雨(台風第12号)により、県内各地で人的被害や住家被害が発生しました。鹿児島県支部では、住家被害が発生した地区からの要請を受けて救援物資の配送を行いました。



救援物資の配送



搬出する物資を確認する奉仕団員

今回お届けしたのは、毛布、緊急セット、タオルケット、ブルーシート、安眠セットです。

救援物資の積込みには、鹿児島県支部の職員だけでなく、日頃から赤十字の活動を支援くださっている奉仕団員(赤十字ボランティア)も参加しました。また、当県支部の在庫で不足した救援物資は、福岡県支部から届けられました。被災された方々が少しでも安心して過ごせるように、これからも支援を続けてまいります。



福岡県支部からの配送支援



地区職員と連携しながらの物資配送

令和7年度のテーマは…

「人道」の精神を学ぶ



夏季青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

8月4～6日に国立大隅青少年自然の家で夏季青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター（以下、トレセン）を開催し、県内各地の小・中・高校22校から62名の児童・生徒が参加しました。



●青少年赤十字について

将来を担う青少年が赤十字を正しく理解し、進んで赤十字運動に参加することを通じて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、日常生活の中で望ましい人格と精神を自らつくりあげることが目的とした事業です。

●トレセンについて

青少年赤十字の最も特徴のある教育プログラムの一つで、集団生活を伴う学習活動の場です。リーダーとして必要な自主・自立の精神を身につけ、赤十字や青少年赤十字に関する知識や技術への理解を深め、生活態度全般にわたっての学びを深めていきます。



防災すごろくで備えについて学ぶ



救急法（ケガの手当）を学ぶ

●参加者の声

普段、気づくことはできても実行することがおっくうだったが、この3日間で実行するところまでできるようになった。たくさんの人を巻き込んで、青少年赤十字活動をしていきたい。



参加生徒

中学生は高校生の発言や行動に、小学生は中学生・高校生の発言や行動に学んでおり、小・中・高校合同のトレセンの良さを大いに感じた。ぜひ今後の青少年赤十字活動につなげてほしい。



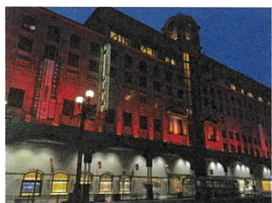
指導者



レッドライトアッププロジェクト2025

5月の赤十字運動月間に合わせて、各事業所様のご協力により、鹿児島県内5か所でレッドライトアップを実施し、赤十字カラーで鹿児島の施設や街が彩られました。

- ・山形屋1号館
- ・センテラス天文館
- ・アミュプラザ鹿児島（アミュラン）
- ・クレインパークいずみ
- ・南日本銀行本店



鹿児島県赤十字有功会総会

鹿児島県赤十字有功会は、県内の日本赤十字社有功章受章者有志で構成され、赤十字思想の普及と事業の伸展にご貢献いただいております。

7月24日に開催された総会の記念講演には、鹿児島地方気象台の北川賢哉様をお迎えし、「自然災害と防災 気象業務150年を踏まえて」と題してご講話いただきました。



ワールド・ファーストエイド・デー2025

赤十字では、9月の第2土曜日を「ワールド・ファーストエイド・デー」と位置づけ、毎年全世界の赤十字・赤新月社が様々なイベントを開催し、救命手当や応急手当の方法など、事故予防のための知識と技術の普及に努めています。

今年は「応急手当と気候変動」をテーマに、9月6日に鹿児島市のオプシアミスマで、熱中症の予防と手当に関するパネルコーナーと、心肺蘇生とAEDの取り扱い体験コーナーを設け、多くの方々にお越しいただきました。



令和7年度鹿児島県総合防災訓練

5月25日、さつま町で豪雨と地震の複合災害を想定した鹿児島県総合防災訓練が実施されました。

鹿児島県支部は、保健師や災害支援ナース等と避難所内の情報を集約し、必要な支援等につなげる訓練に参加しました。

また、災害救援物資の輸送や赤十字アマチュア無線奉仕団による非常通信、さつま町赤十字奉仕団による炊出し支援など、多岐にわたる実践的な訓練を行いました。



●活動資金のご協力について

日本赤十字社鹿児島県支部の活動は、皆さまからのご寄付によって支えられています。今後とも、赤十字の活動にご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

ご協力の方法
はこちらから



日本赤十字社 鹿児島県支部
Japanese Red Cross Society

☎099(252)0600

URL : <https://www.jrc.or.jp/chapter/kagoshima/>
Mail : soshiki-rc@kagoshima.jrc.or.jp



日赤鹿児島県支部HP



Facebook



Instagram



活動報告や
最新情報は
こちらから